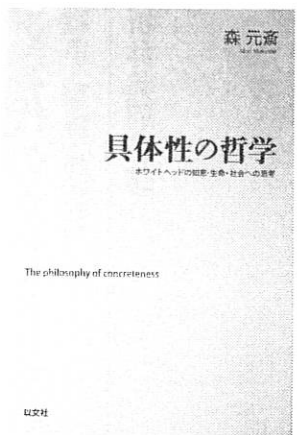


## 具体性の哲学

ホワイトヘッドの知恵・生命・社会への思考

森 元齋著

へ私たちが生きる現実には多くの運動がある。運動はそれぞれ活動的に蠢く。その生きた経験を維持するために哲学を使うへ抽象的なもの言いなど不問にふしつつ、活動を促していく。それが哲学なのだとホワイトヘッドは述べているへ哲学者ホワイトヘッド(1861~1947)の形而上学的宇宙論『過程と実在』を解読することで、思考の軌跡を追い、具体性の哲学とは何かを明らかにする。ここでは特にベルクソンやドゥルーズなど触発された思想家たちの議論、相対性理論の成果を抱合した「把握」という概念を提示、さらにアナキズムとの接続へと生命力溢れる哲学の今日における可能性を説く。



B6判／304頁／2600円  
以文社